

## 【会議記録－令和元年12月4日－201912041－1－議会改革検討会議】

1 開催日時 令和元年12月4日（水）11時30分～11時50分

2 開催場所 議会中会議室

### 3 出席者

(1) 出席議員（出席者数：委員10人のうち10人出席）

座長 小島健一

委員 杉本透、あらい絹世、田中信次、松本清、中村武人、亀井たかつぐ、  
石川裕憲、相原高広、君嶋ちか子

(2) 議会局出席者

局長 和泉雅幸、副局長兼総務課長 谷川純一

管理担当課長兼総務課副課長 小野関浩人、経理課長 奥澤陽一

参事兼議事課長 霜尾克彦、政策調査課長 田中一郎

### 4 議事

(1) 音声文字化について

(2) 議員控室のあり方について

### 5 会議記録

#### (小島座長)

ただ今から議会改革検討会議を開会いたします。

本日は、今期初めての開催となります。議会改革について、真摯に議論し、また、当会議の円滑な運営をはかってまいりたいと考えておりますので、各会派の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

はじめに、委員席についてであります。ただいまお座りの席ということで、よろしくお願いいたします。

次に、当会議における検討事項についてであります。10月15日の団長会における協議を踏まえ、議長から、「音声文字化」と「議員控室のあり方」について、当会議での検討が依頼されたところであります。

まず「音声文字化」についてであります。近年の技術進歩を踏まえ、県内においても、川崎市議会の本会議で、音声文字化が既に実施され、傍聴席のモニターに表示するようになったことなど、導入に向けた動きが進みつつあるということで、当会議での検討を依頼された経過がございます。

次に、「議員控室のあり方」についてであります。現在、任期途中の会派構成の変動については、できる限り工事を実施しないこととしておりますが、選挙の結果を受けて、会派構成が定まる改選期については、議員控室の改修工事を行うことを例としております。

しかし、現状の控室は、簡易に間仕切り等を変えられる構造とはなっておらず、改修にあたっては、常に一定規模以上の工事施工が必要となっております。

そこで、この際 例えば簡易にレイアウト変更が可能となるようにするなど、「議員控室のあり方」について、検討を依頼されたものであります。

それでは、まず、議題1ということで「音声文字化」についてでございますが、これについては、川崎市議会の状況などについて、本職において、あらかじめ、議会局に資料を用意させましたので、議会局から説明させます。

※議会局資料説明（管理担当課長兼総務課副課長）

**(小島座長)**

それでは、ただいまの説明について、なにかありましたらどうぞ。

**(田中委員)**

音声文字化について、ご意見申し上げたいと思います。

音声の聞き取りが困難な方など、障害のある方への対応という面では非常に大きいと思いますが、それ以外にも、例えば、本会議や委員会の答弁などが、すぐ文書で見られるということになれば、審議を効率的に進める上でも非常に有益だと思います。

一方で、今の説明で、実際に、川崎市議会で行われている即時文字化についての傍聴者への案内などをみても、精度面でまだまだ課題があるのかなということもわかりました。

しかし、音声の聞き取りが困難な方などの利便性が少しでも向上するというのであれば、課題はあるとしても、その第一歩を踏み出してもよいのではないかということを感じております。

そこで、議会局に質問をしたいのですが、一点目は、今回、仮に、即時音声文字化を進めるとした場合、現状を踏まえると、その目的は、音声の聞き取りが困難であるなど、障害のある方への対応が主な目的であると考えているが、その辺についてどうなのか。

二つ目は、即時音声文字化について、いま実施している議会の実施範囲だが、本会議だけなのか、それとも委員会も含めてやっているのか、お伺いしたいと思います。

そして、三つ目ですけれども、実際に実施している議会の導入費用についてはどのくらいなのか、伺いたいと思います。以上です。

**(小野関管理担当課長兼総務課副課長)**

小野関管理担当課長兼総務課副課長。

**(小島座長)**

小野関担当課長。

**(小野関管理担当課長兼総務課副課長)**

着席して失礼させていただきます。

まず、この現状を踏まえた目的でございますけれども、先ほどご説明申し上げましたが、川崎市議会が傍聴者に資料を配付してございます。その裏面に記載があるとおり、なかなか精度には厳しいものがあるという印象を受けております。

一方、さきほど口頭でご説明いたしました、オペレーターを介して文字化を行っている福井県議会につきましては、比較的精度は高いようではありますが、現在、本会議の生中継には利用しておりますが、録画中継には文字を表示していないなど、記録等にそのまま使えるような精度ではないような印象は受けております。

こうした事例を踏まえますと、現状では、音声の聞き取りが困難である方など、例えば、障害などのある方などへの対応が、主な目的になると議会局では考えております。

次に、二点目ですが、現在実施している福井県議会と川崎市議会ですが、福井県議会では人手を介したものではありませんが、本会議の代表質問と一般質問、当初は代表質問のみで導入し、その後、今年度から一般質問にも拡大したと伺っております。

続きまして、さきほどご説明いたしましたとおり、川崎市議会では本会議のみでの実施というふうに伺っております。

三点目の導入費用でございますが、私共は、当初、川崎市議会に傍聴席へのモニター設置などの費用について伺ったところ、新聞報道とは若干金額が異なるのですが、傍聴席のモニター設置などの初期コストが約27万円弱、A I ソフトのシステム利用料など年間のランニングコストが約44万円弱と伺っております。

福井県議会につきましては、比較的高コストであるとは、伺っておりますが、詳細につきまして、現在確認できておりませんので、これにつきましては、また改めて確認させていただければと思っております。以上です。

(小島座長)

はい。それでは、他にご発言はございますか。

(相原委員)

せっかくですので、今、川崎市議会と福井県議会の事例を教えていただいたのですが、さらに先ほどお話にあった、即時対応ではないですけれども、音声文字化の対応を一応している議会もあるということですので、次回で結構ですので、是非教えていただければ参考になりますので、よろしく願いいたします。

(小島座長)

はい。議会局よろしいですか。

(小野関管理担当課長兼総務課副課長)

分かりました。

(小島座長)

はい。では、よろしく願いいたします。他にご発言はございますか。

(君嶋委員)

誤変換の割合というのはどの程度なのでしょうか。

(小野関管理担当課長兼総務課副課長)

私共が傍聴に行った時でございますけれども、例えば、漢字変換が、似たような活舌だと、そういった形で変換されるということで、例で申し上げますと、例えば、「市政一般」という言葉がありますが、それが「至誠一派」と変換されたり、「今期をもって」という変換を「根拠をもって」と変換したり、「元号改正」を「言語改正」としたり、若干癖のある変換があるところが見受けられました。

(小島座長)

よろしいですか。

(君嶋委員)

はい。

(小島座長)

それでは、これにつきましては、時間の都合もございまして、ただいまいただいたご発言や議会局の回答なども踏まえまして、音声文字化のあり方について、次回以降、引き続き、検討してまいりたいと思っております。

**(小島座長)**

それでは、次に、議題の2「議員控室のあり方」についてであります。

これについては、最近の控室の工事状況などについて、本職において、あらかじめ、議会局に資料を用意させましたので、議会局から説明させます。

※議会局資料説明（管理担当課長兼総務課副課長）

**(小島座長)**

それでは、ただいまの説明について、何かありましたらどうぞ。

**(田中委員)**

議員控室のあり方についてですけれども、これまで神奈川県議会では、選挙の結果で党派構成が大きく変わることも過去多く見られまして、そうした中、議員控室について、党派構成に従って壁を作り直したりとか、空調その他の配管を作り直すことが必要であったことから、一定額以上の経費を要していたことは必然であったとは思っておりますが、しかし、控室改修のためだけに、多額の公費を費やすことが妥当かどうかは、当然問われなければならない問題ではないかなと思っております。

今回の改修工事では、多少の不便はあっても空調の配管はいじらないなどの工夫を凝らしていると聞いていますが、それでも、さきほどの、議会局の報告では、1,000万円以上の費用をかけているというのは、本県を含めて6都府県だけということであり、費用を削減する必要があるというふうに私も感じました。

そこでお聞きしたいのですが、多額の費用を要していない都道府県については、その理由がわかれば伺いたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

**(小野関管理担当課長兼総務課副課長)**

今回の調査にあたりまして、工事金額等は伺いましたが、その理由などについては、個別に詳細には伺っていないところでございます。

ただし、例えば、議員数に応じた広さの部屋に引っ越すことを基本として、少人数の党派が増えるなどにより、部屋が足りない場合は、部屋の中を壁で、例えば、天井までいかないうようなパーティションで仕切る工事を行って対応する、としている県もございます。

また、行政の建物の中に入っている議会、独立した議会棟があるところなど、その態様は様々ですので、あらためて詳細な事例につきましては確認し、整理したうえで、お答えさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

**(小島座長)**

はい。他にご発言はございますか。

**(相原委員)**

せっかくの機会でございますので、本県を含めて、規模の大きい都道府県議会は、選挙のたびに党派の所属議員数が大きく変わる可能性があるんだと思いますけれども、そこで、可能性、具体策が思いつくなら教えていただきたいのですけれども、党派構成が大きく変わる場合に、費用をかけずに、控室を改修するいい方法というのはあり得るのでしょうか。

**(小野関管理担当課長兼総務課副課長)**

実は、これも今回の回答に記載のあった県ですが、控室の中にアルミ製のパーテーションの移設などの工事を行ったということですが、ある程度控室の仕切りが簡易に変更できるように、最初から各種スイッチとか空調を工夫して設置していて、いわゆる設計委託まですると大きな工事なるのですけれども、設計委託までは必要がない形で工夫をしているという県はございました。

ですから、そういった形で、最初は費用が掛かっても、ある程度の区割りで照明だとかスイッチ、空調だとかが整備できるようになれば、最初お金がかかるとしても、比較的以後の改修は安価になるのではないかと思います。以上です。

**(相原委員)**

わかりました。

**(小島座長)**

他にございますか。よろしいでしょうか。

**(小島座長)**

それでは、これにつきましても、今いただいたご意見や議会局の事例調査の結果も踏まえながら、次回以降、引き続き、検討してまいりたいと思います。

なお、今後の検討にあたりまして、留意すべき点などについては、本職より、議会局を通じて、関係所属に意見照会を行いますので、あらかじめ、ご承知お祈りいたします。

私からは以上でございますが、この際、何かございましたらどうぞ。

**(君嶋委員)**

今回、この二つが検討課題として挙げられていますけれども、私どもの方で、他の課題についてもこの検討会議で取り上げていただけないかと思っております。それを何点かお話しさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

**(小島座長)**

どうぞ。

**(君嶋委員)**

一つは、県政調査の見直しということですが。

もう一点は、本会議において一人会派の質問機会を確保してほしいということ、確保というのは、現在は任期中一回になっていると思うんですけれども、それをせめて現在の回数で調整可能な2年に一度とか、というように機会の確保ができないかということですが。

それと三つ目ですけれども、委員会審議においてもマイクと名札を備えていただけないかということで要望が出ているのですが、以上、この三点です。

**(小島座長)**

ただいま、当改革会議での協議事項について発言いただいたところです。

本職といたしましては、ご提案を否定するものではございませんけれども、議長から付議された案件について、まずは、今年度しっかりと検討していきたいと考えているところでありますので、よろしくご了承のほどお願いできればと思います。

(君嶋委員)

どこかでまた検討していただける、例えば、今年度は無理だとか、どこかで検討していただけるということは。

(小島座長)

それは、来年度以降はまたですね、今ご意見賜りましたので、ご意見を否定するものではありませんが、今年度は、議長から示されたこの2点について集中的にやりたいということでございます。以上です。よろしいですね。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

それでは、次回の議会改革検討会議は、12月18日最終日の本会議散会後に開催いたしたいと考えておりますので、開催につきましては、調整の上、改めて、ご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上で議会改革検討会議を終了いたします。

ご苦勞様でございました。

以 上